

各 位

2022年6月16日
株式会社天夢人

好評既刊『寅さんの「日本」を歩く』シリーズの第3弾。
これまで取り上げていない聖地に海外ロケのウィーンも加えて、
寅さんファン待望の『寅さんの「日本」を歩く3』を発刊します。

インプレスグループで鉄道・旅・歴史メディア事業を展開する株式会社天夢人（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：勝峰富雄）は、2022年6月18日に、『寅さんの「日本」を歩く3』（岡村直樹著）を刊行いたします。



多くの寅さんファンや寅さん入門者から聖地探訪の最強の指南書と高く評価していただいた『寅さんの「日本」を歩く』『寅さんの「日本」を歩く2』。重版を重ねるこの本の待ちに待った第3弾が刊行されます。

本書では新たなテーマ（鉄道駅、バス停、日本百名山、海辺、湖沼）を設けて既刊本では触れていない寅さんの聖地を取り上げ、唯一の海外ロケとなった第41作「寅次郎心の旅路」のウィーンにも1章を割いています。資料篇では『寅さんの「日本」を歩く』

で掲載した「寅さんが歩いた日本 DATA」を拡充して完全版として収載。オープニングの「夢」解説や映画を盛り上げた男優・女優たちについても詳述しています。

ビジュアル面では、既刊本と同様に貴重なスチール（既刊本とは異なる写真）を株式会社松竹の協力で探し出し、筆者が撮り下ろした取材写真とともに百数十点収載しています。既刊本とともに寅さんの聖地探訪をお楽しみいただける、強力な「男はつらいよ」指南本となります。



寅さんが旅を準備する際につけているお守り。美は都賀天徳法寺ではなく、馬田山福徳寺もしくは小野崎神社という説がある。

悲しくもポジティブ、そして愛おしい「予定調和」の世界

「男はつらいよ」シリーズには定説がある。起承転結の筋立てがおおむね同じで、美はそれが観客を魅了してきた理由となっている。展開は以下の通りだ。

寅さんがしばらくぶりに高橋繁文の土を踏む。密釈天参進で「とらや」(第40作から「くまや」と屋号変更)を営む家族は大歓迎だ。メンバーはおいちゃん(車籠造)、おぼちやんの車つね、妹の諏訪さくらと家主の博、諏訪家の一人息子(の若男)である。夜、おぼちやんの手料理を回す団縁のひととき。明日印刷を急がせる隣人のタコ社長が訪れ、「とお、寅さん久しぶり」と話が弾む。ところが何気ないやり取りがきっかけで、タコ社長(あるいはおいちゃん、まれに博と喧嘩に発展。憤慨した寅さんは再び旅に出してしまう。

寅さんの娘は香車師(かつてはテキヤという言葉も用いられていた。地方の縁日で仲間とバイ(恋)をし、しばらく商人宿に逗留したあと、他の土地へと渡る生活である(途中で閉業者をしばしば起す)。旅費が足りなくなると、どこか親しげで美しい女性(これがマドンナ)と知り合い、一目惚れ。元来、男気があり、気っぶのいい男なので、女性も寅さんに親しみを感じてしまう。女性との別れ際の決まり文句は「何か困ったことがあつたら、東京は高橋繁文の密釈天参進にある(とらや)をたずねて行きな。そこは俺の家だからよ。家の者がきつとよくしてくれるよ」。

やがて旅から戻ると、旅先で知り合ったマドンナが「とらや」に寅さんを訪ね

寅さんは今どこにいる?

ま、一言で言って旅人。稼業で言うくと渡世人――。

自戒の念を込めてこう語る寅さん。

街行く姿は、まるで求道者のようである。

寅さんは旅を志し、かつては高橋繁文の土を踏む。美は都賀天徳法寺ではなく、馬田山福徳寺もしくは小野崎神社という説がある。



男はつらいよ 第1巻 寅さんの旅は続いている



実作の野で実るに飽いたころを知らぬか
とみ(マサトシの横顔あり)。トコ(奥子(遠野
静江)は、あついでに奥子(トコ)に就んで
あ。高野(高野)も、本作で高野(高野)は、こ
ろいでのながの(高野)を演じている。



第24作「黄次郎春の夢」(1979年)。こちらは
サンフランシスコ。船を脱した「マドモアゼル」
と銃弾を避けて逃げた女船となつてはいる
くらが(高野)も、本は(高野)も、取り出された
二人は船で一路(高野)を目撃す。

基本、寅さんの白日夢は さくらを救う、白馬の騎士

からまわりの(高野)も、タイ
ガ(高野)も、(高野)も、
「高野」も、(高野)も、
「高野」も、(高野)も、

第10作「黄次郎と怪小僧」
「高野」も、(高野)も、
「高野」も、(高野)も、
「高野」も、(高野)も、

第11作「黄次郎と怪小僧」
「高野」も、(高野)も、
「高野」も、(高野)も、
「高野」も、(高野)も、

第12作「黄次郎と怪小僧」
「高野」も、(高野)も、
「高野」も、(高野)も、
「高野」も、(高野)も、

第13作「黄次郎と怪小僧」
「高野」も、(高野)も、
「高野」も、(高野)も、
「高野」も、(高野)も、

第14作「黄次郎と怪小僧」
「高野」も、(高野)も、
「高野」も、(高野)も、
「高野」も、(高野)も、

第15作「黄次郎と怪小僧」
「高野」も、(高野)も、
「高野」も、(高野)も、
「高野」も、(高野)も、

第16作「黄次郎と怪小僧」
「高野」も、(高野)も、
「高野」も、(高野)も、
「高野」も、(高野)も、

第17作「黄次郎と怪小僧」
「高野」も、(高野)も、
「高野」も、(高野)も、
「高野」も、(高野)も、

第18作「黄次郎と怪小僧」
「高野」も、(高野)も、
「高野」も、(高野)も、
「高野」も、(高野)も、

第19作「黄次郎と怪小僧」
「高野」も、(高野)も、
「高野」も、(高野)も、
「高野」も、(高野)も、

第20作「黄次郎と怪小僧」
「高野」も、(高野)も、
「高野」も、(高野)も、
「高野」も、(高野)も、

第21作「黄次郎と怪小僧」
「高野」も、(高野)も、
「高野」も、(高野)も、
「高野」も、(高野)も、

第22作「黄次郎と怪小僧」
「高野」も、(高野)も、
「高野」も、(高野)も、
「高野」も、(高野)も、

第23作「黄次郎と怪小僧」
「高野」も、(高野)も、
「高野」も、(高野)も、
「高野」も、(高野)も、

第24作「黄次郎と怪小僧」
「高野」も、(高野)も、
「高野」も、(高野)も、
「高野」も、(高野)も、

第25作「黄次郎と怪小僧」
「高野」も、(高野)も、
「高野」も、(高野)も、
「高野」も、(高野)も、

第26作「黄次郎と怪小僧」
「高野」も、(高野)も、
「高野」も、(高野)も、
「高野」も、(高野)も、

第27作「黄次郎と怪小僧」
「高野」も、(高野)も、
「高野」も、(高野)も、
「高野」も、(高野)も、

第28作「黄次郎と怪小僧」
「高野」も、(高野)も、
「高野」も、(高野)も、
「高野」も、(高野)も、

第29作「黄次郎と怪小僧」
「高野」も、(高野)も、
「高野」も、(高野)も、
「高野」も、(高野)も、

第30作「黄次郎と怪小僧」
「高野」も、(高野)も、
「高野」も、(高野)も、
「高野」も、(高野)も、

第1章●旅は続いている

グラフ | 夢見る男 寅さんの愛しき世界

帰郷／団欒／出会い／商売／悶着／決意／反省／恋愛指南／一目惚れ／大人の恋／
白昼夢／啖呵売

第2章●寅さんと鉄道駅

小沢駅／中妻駅／鎌倉高校前駅／国府津駅／美作滝尾駅／安部駅／小城駅／夜明駅

第3章●寅さんとバス停

上荷付場バス停／岳温泉前バス停／小諸駅前バス停／出会い橋前バス停／雲仙バス
停／福岡行きバス停

第4章●寅さんと日本百名山

富士山／羅臼岳／岩木山／筑波山／甲斐駒ヶ岳／大山／開聞岳

第5章●寅さんと海辺

奥尻島・賽の河原／出雲崎／加太港／因島／石波海岸／丸木浜

第6章●寅さんと湖沼

牛久沼／支笏湖／芦ノ湖／木崎湖／塩郷ダム／浜名湖／琵琶湖

第7章●寅さんとウィーン

ウィーン市内

第8章●全作品ガイド

愛すべき物語、ようこそ寅さんワールドへ

第9章●資料篇

寅さん夢を生きる＝全50作中34作 寅さんが生きた夢一覧

シリーズを支えた名優＝寅さんに力を与えた男優たち／寅さんを勇気づけた女優たち

完全版 DATA FILE 寅さんが歩いた日本341

寅さんの愛すべき家族や仲間たち

全49作品 歴代マドンナ一覧

喜劇役者・渥美清 68年の軌跡

以上

【書誌情報】

書名：寅さんの「日本」を歩く3

仕様：A5判 240ページ

定価：1980円（本体1800＋税10%）

発売日：2022年6月18日

全国書店、オンライン書店の Amazon など で 発売中。

<https://amzn.to/3KnGhV0>

【株式会社天夢人】 <https://temjin-g.co.jp/>

2007 年設立。隔月刊雑誌『旅と鉄道(奇数月 21 日発売)』をはじめとする、鉄道・旅・歴史・民俗・カルチャーをテーマとした雑誌や書籍を発行し、人生を豊かにするための情報を発信しています。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス(本社:東京都千代田区、代表取締役:松本大輔、証券コード:東証スタンダード市場 9479)を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社天夢人 担当:野口

Tel: 03-6837-4680/ E-mail:info@temjin-g.co.jp

URL:<https://temjin-g.co.jp/>